
家庭教師は弱気な女子大生
～巨乳とうたらおっぱい見せて!!～
本編 229P
基本CG 14枚
うさぎ条約


家庭教師は弱気な女子大生
～百点とったらおっぱい見せて!!～
本編 229P
基本CG 14枚
うさぎ条約


家庭教師は弱気な女子大生
～百点とったらおっぱい見せて!!～
本編 229P
基本CG 14枚
うさぎ条約


隣に住んでいるユキちゃんとは
物心がつく前からずっと
家族ぐるみで仲が良かった。
お互い大きくなった今も
どちらかの家で一緒に夕飯を食べたり
みんなで旅行に行ったり
そんな関係が続いていた。
4つしか違わないけど
俺が小さい頃は
本当の姉のように思っていたし
ユキちゃんも弟のように接してくれていた。
今もそれは変わらないけど
最近、ユキちゃんは
俺のことが好きだと気づいた。


ユキちゃんは今年、有名な大学に進学した。
少し大学に慣れた頃、
うちの親が勝手に俺の家庭教師を
ユキちゃんに頼んでいた。
それから毎週、俺の部屋で
勉強を教えてもらうことになった。


じゃあ今日もはじめよっか
うん


どこからやろっか？
あー、来週テストあってここがわからないんだけど…
うんうん


勉強中いつもおっぱいが机に乗ってる
あんま見ちゃだめのは分かってるけどこれはつい目がいっちゃうよな…
ナニゃん


というかこんなに大きかったっけ…
なんか前よりさらに…
ドクン
ドクン
大きくなったよね
え!?


昔は私の方が大きかったのになぁ
あ、あぁ…身長ね
びっくりした…見てるのバレたかと思った…


そりゃ俺男だし身長超えるよ
んー、でもお姉さんぽくなくなっちゃう
別にお姉さんじゃなくていいでしょ


お姉さんでいたいの？
んー…ほんとは別の関係でいたいんだけどね…
そんな顔で別の関係になりたいって言うの告白してるようなものだと思うけど…
別の関係か…


あ、じゃあさ
今は家庭教師と
生徒じゃん
うん…？
俺が次の小テストで
満点取ったら
ご褒美ちょうだい
っていうの
家庭教師
っぽくない？


ご褒美かぁ…
なにがいいかな
ラーメン
…俺、ユキちゃんに
してほしいこと
あるんだけど…
してほしいこと？
それでいいの？


俺はその週、必死に勉強して
小テストで満点を取った。
先週約束した“ご褒美”を
ユキちゃんにしてもらうことに
胸を高鳴らせ、同じくらい緊張もしていた。


え、えっと…
ご褒美…だよね
うん、ちゃんと
満点取ったし
いいよね？
う、うん…
はやく見たい
いま見せてよ


…うん
わかった
ユキちゃんは自分から
服を捲りあげた
ドキドキと
高揚と優越感で
いっぱいになる…
ぷるんっ


思ってたより恥ずかしいね…
これ、何カップあるの？
…秘密


ちょっとだけ触ってもいい？
み、見るだけだって…
でも俺テストすごい頑張ったんだよ
ほんとにちょっと触るだけだからさおねがい！
う…


じゃ、じゃあ
少しだけなら…
え…
ほんとに触って
いいなんて…
相変わらず押しに弱いな


んっ…
うわ…
重量感がすごい…
けど、めちゃくちゃ
柔らかい…
ムニュ
ムニュ
グイッ


まだ触るの？
今触り始めたばっかじゃん
もうちょっといいでしょ？


恥ずかしいからんっ…早く…
ピク
んっ
んっ
ピク
あれ、ユキちゃん喘いでる…のか？
ゆさ
体もちょっと震えてるし
ゆさ
ぶっ


ユキちゃんって
結構敏感なんだね
ん…っ
ピク
ん…っ
ピク
え…？
声出てるよ
もしかして
気持ちいい？


っ……！
おしまい！
え、もう？
も、、もう
だめ！
ァァァァ……
ピタッ


まあ触れたしラッキーか…
喘いでるよって言わなきゃよかったな…
ドクン
ドクン


さっきの感覚が
手に残ってて
全然勉強する
気になれない…
それにユキちゃんの
声を思い出すと…
ドクン
ドクン
ドクン
……


あ、あの…
ちょっと仮眠とってもいいかな…
え？あ、うん全然いいよ
あ、ベッド使う？
ドクン
ドクン
ドクン


ユキちゃんが寝てる
間に落ち着こう…
この問題まで解いたら
声かけて起こそうかな


ユキちゃん


すー
すー
もう寝たのか…？


ユキちゃんのおっぱい柔らかかったな…
おもっ
おもっ
太ももとかお尻もきっと…


うぅ…考えたらまた勃ってきちゃった…
…ユキちゃん
声かけても起きない…
…よし


ペろ～ん


むわっ
真っ白で柔らかそう…
汗かいてるな…そのせいかパンツが透けてて…
よく見るとユキちゃんのまんこが…


ドクン
ドクン
ドクン
挿れたいけど
さすがにバレたら
やばいし…
でも、こんなときに
無防備で寝てる
ユキちゃんに
何もしないのも
もったいないよな…

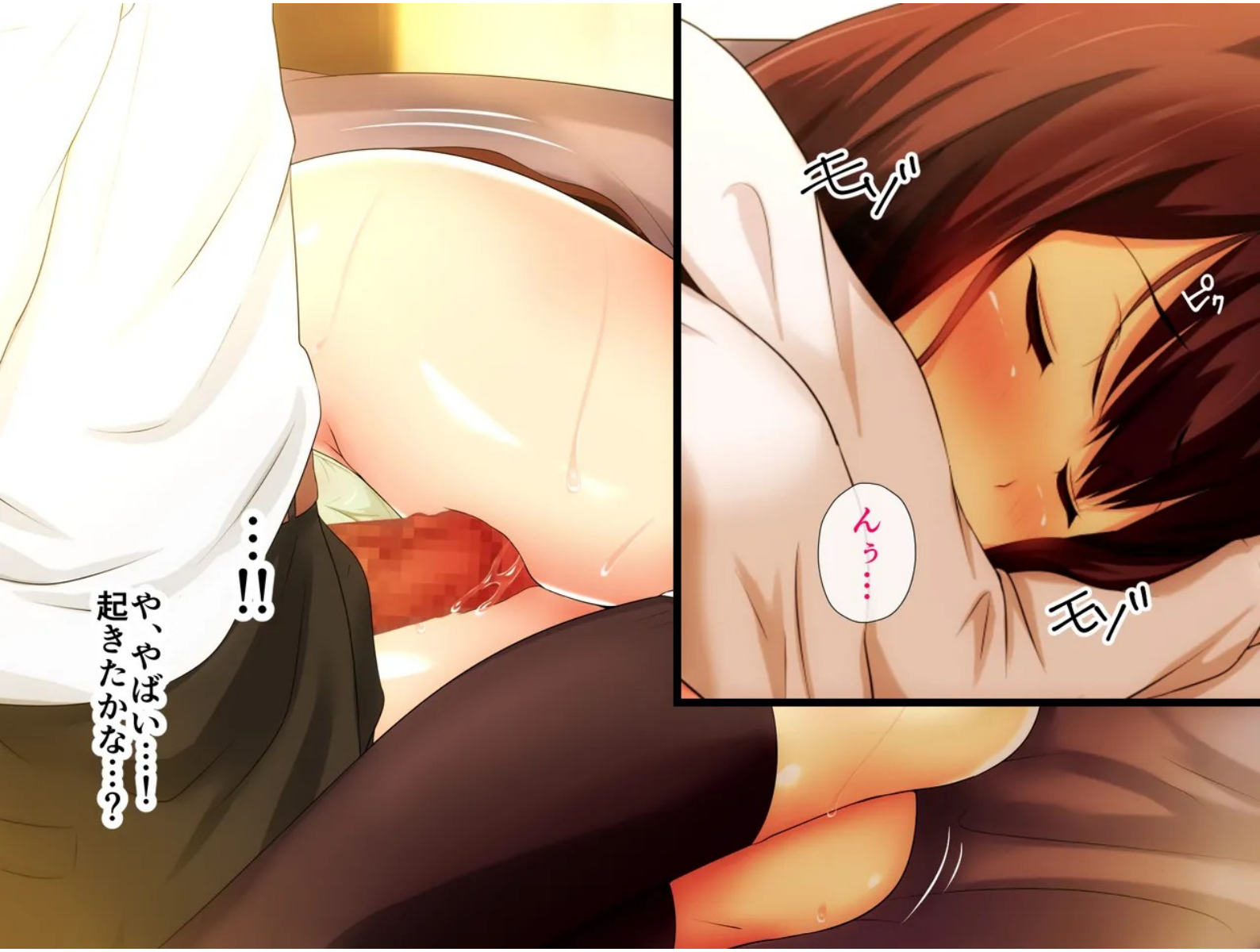

そうだ
こするだけ…
ぽろんっ
太ももで抜くだけ
ならいいよね？

ぐにっ
おほ

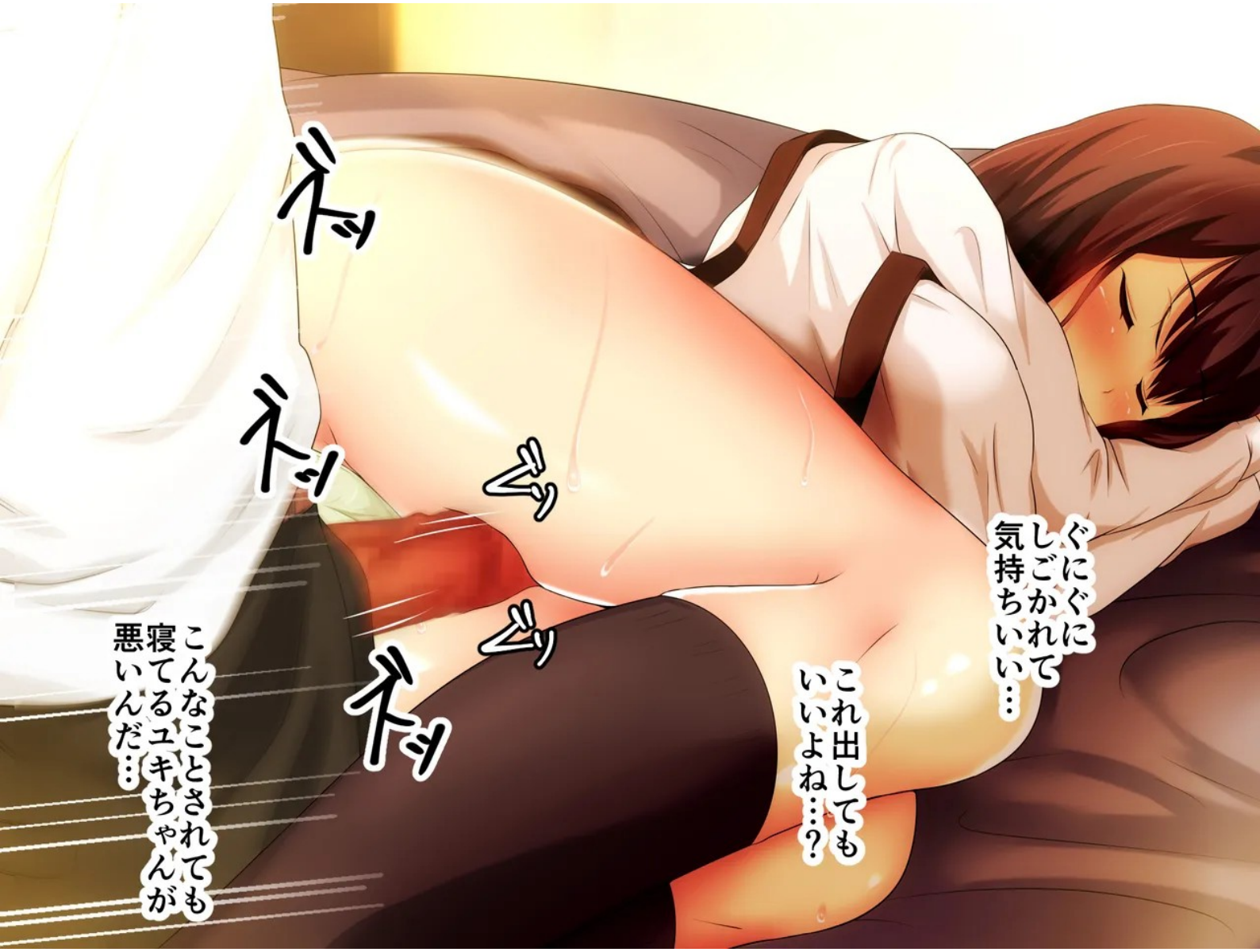
ぐぅ


ちょっと
汗ばんでるからか
ろにっ
ろにっ
太ももが
吸い付いてきて
気持ちいい…


顔とパンツ見ながら
柔らかい太ももで
チンコしごいてると
ニチッ
スチッ
ほんとにユキちゃんに
挿れてるみたいだ…


モゾ
ピク
んぅ…
モゾ
…!!
や、やばい…!
起きたかな…?


すー…
すーミ
寝てる…
よかった…
ぐにん
うっ…
もじもじ動いて
足コキされてる
みたいだ…


ぐにぐにしごかれて気持ちいい…
これ出してもいいよね…？
こんなことされても寝てるユキちゃんが悪いんだ…

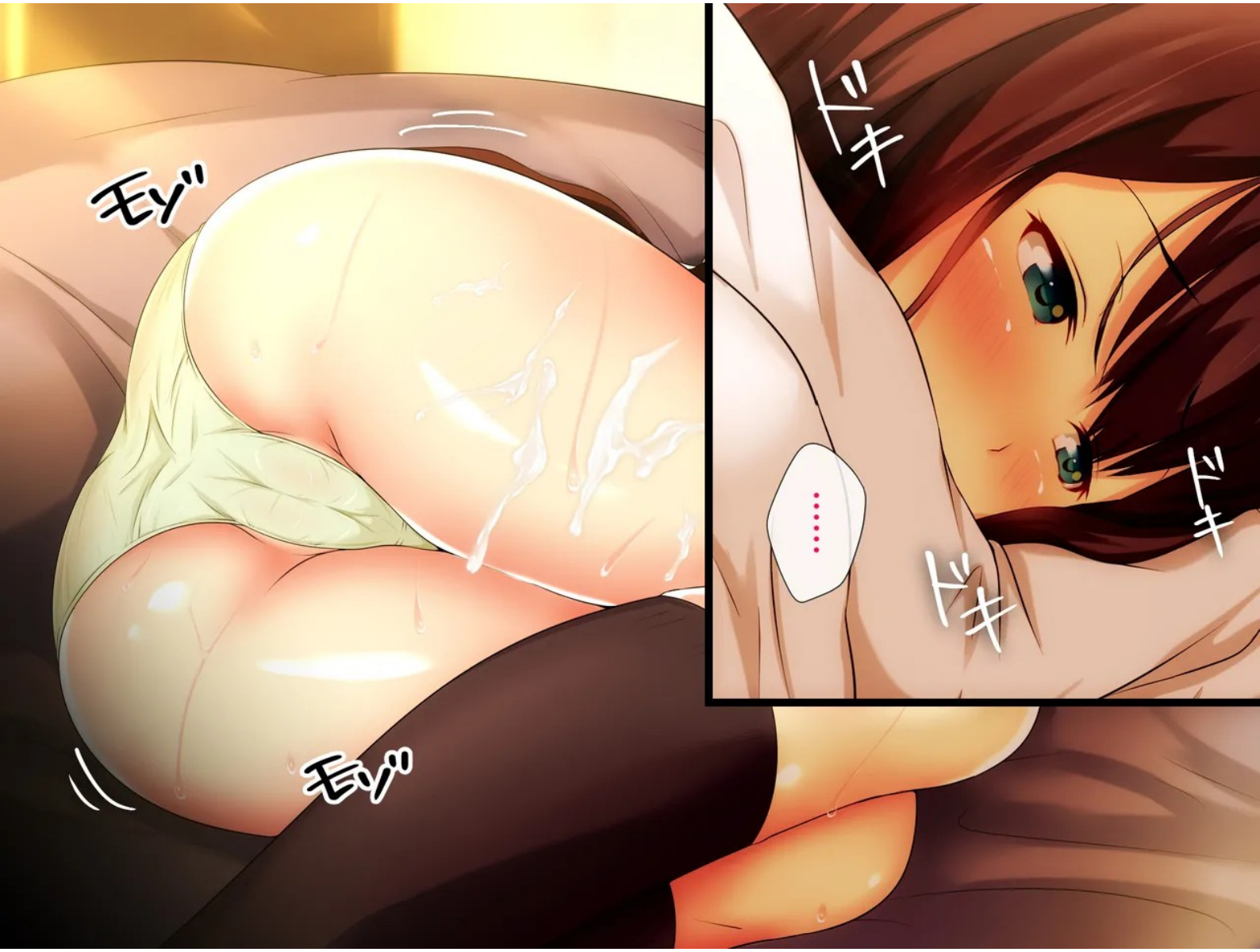
はぁ
はぁ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
あ…
ユキちゃん…
出るっ…


ううっ…！
びゅくっ
ぴゅっ


はぁ…はぁ…
ヘリとお
やっちゃった…
でもめちゃくちゃ気持ちよかった…


拭くもの持ってこなきゃ…
ガサガサ




モゾ
モゾ
ドキ
……
ドキ
ドキ




あれ以来少し
気まずさがあるけど
ユキちゃんは変わらず
教えに来てくれる
ユキちゃんは意外と
気にしてる素振りを
見せないけど
俺はあの感触が
忘れられなかった


あ、ここはこっちの公式の方がいいよ
え、そうなの？
うんえっとね…
x=2y+5z
y=3x-2z


ちょっと意識すると
思い出しちゃうな…
やばい…
考えてたら
勃ってきた…


もー
聞いてた？
えっ…
あ、あぁ…
ごめん
別のこと
考えてた
触りたい…
またしたい…


じゃあ今度は聞いてね？
ここを…
ユキちゃん
ん？
俺ちょっと今集中できなくて…


そうなの？
どうかした？
うん、お願いが
あるんだけど
なに？


どこまでなら
俺の言うことを
聞いてしまうのか
興奮してる
勢いもあって
試したくなった
…今ちんこ
勃ってるん
だけど
抜くの手伝って
くれない？


えっ…
…て、手伝うって何するの…？
y
x
{x=2y+5z
{y=3x−2z


あ、あれ…
さすがに怒られると
思ったんだけど…
もしかしたら
させてくれるかな
…ユキちゃんに
挿れさせて


っ…そ、それはだめだよ…
でも、このままじゃ俺勉強できないよ
でも、挿れ…え、えっちはダメ…
なんで？


だって…
好きな人としか
しちゃだめだから…
ユキちゃんの目が
切なそうに見えた
うーん
セックスは
無理そうだな…


じゃあユキちゃんには
何もしないから
ここで抜いていい？
おっぱい見せてよ
それで抜きたい
…見るだけだよ
あっさりだ…
前回は触ったし
ハードル低く
なってるのかな


こう？
ブラも取って
…わかった


うわ…
生だぁ…
ぷるんっ
これが
ユキちゃんの
乳首…


…このままいたらいいの？
ビっ
うん、これいい見るだけでイけそう
そ、そうなんだ…


ねえ、俺のチンコ見てて
見るだけでいいから
う…
チラ


えっ…!?
どうした？
あ、いや…


ハルくんのこんなにおおきかったんだ…
あの時もこれが私の足に…それから…


じっと俺のチンコ見てるな…
もっと嫌がるかと思った
ニチュッ
ニチュッ
ユキちゃんって意外とエロいの好きなのかな


イキそうかも…
ねえユキちゃんの口の中出したい
シュッ
シュッ
く、くち!?
うん、あっ…だめ?


それはちょっと…
でも、もう出ちゃうよ
シュッ
シュッ
え…
あ…イっちゃう…


ビクッ
んっ…
あぁっ…！
びゅくっびゅくっ


はぁ…
はぁ…
ドクッ
ビクビク


やばっ…！
ごめん…顔に…
ドクン
ドクン
ドクン
だ、大丈夫…
うわ…


ユキちゃんの顔
俺の精子まみれ…
また興奮してきた
これじゃ全然チンコ
収まらない…
あのさ、もう一回
…あれ？
はぁ
はぁ
モゾ
モゾ


ユキちゃん
息荒くない？
え？
はぁ
はぁ
ちょっと
ここ座って
モゾ
モゾ


やっぱり濡れてる
じわぁ…
えっ…だ、だめ…見ないで…


パンツの色が
変わっている部分を
見て余計興奮してしまう
じわぁ…
俺のチンコ見て
ここ濡れたの？
っ…
そう、かも…


…触ってみて
え？
オナニー見せてよ
お、おなっ…


したことあるでしょ？
で、でも…見られながらなんて…
ユキちゃんオナニーしてるんだ…
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン


ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ね、お願い
ユキちゃんがまんこ触ってるとこどうしても見たい
……


ちょっとだよ…
どんどん行為がエスカレートしてるけど
どこまでいけるんだ…


戸惑いながらもユキちゃんはオナニーを始めた
それを見て俺はほとんど無意識にシゴき始めてた
クリッ クリッ
ん…っ
ムニ ムニ
あっ


ちょっとずつ
声が大きく
なっていく…
俺が見てるの
忘れてるのかな…
そんなわけは
ないと思うけど
指の動きに合わせて
体がびくびくして
感じてるのがわかる
あっ
んあっ
クリッ
クリッ


声でてるのってきもちいの？
んっ…うん、きもちぃけど…
見られ、るの…恥ずかしいっ…よぉ…
指、中に入れないの？
ん♡
ん♡
ん♡
クリッ
クリッ
クリッ
クリッ


ハルくんが見てるのに…
私…
ぴちゃ
んんッ♡
ぷしゅっ
あぁ…ッ♡
指まで入れて…


ビクッ
あッ♡
あぁ…ッ♡
んんッ♡
んッ♡
こんなこと誰かの前で…
ハルくんの前でしちゃだめなことなのに…
なんで…指とまんないよぉ…
ぬちっ
ぬちっ


ビクッ
あッ♡
あぁ…ッ♡
んんッ♡
ハルくんの匂いがこんなにする部屋でオナニーしてると
んぅッ♡
自分でしてるのにハルくんにされてるみたいで…
いつもよりきもちいいかも…ッ
クチュ♡
ちゃぷっ♡


ビクッ
あッ♡
あぁ…ッ♡
んんッ♡
んぅッ♡
まんこぐちゃぐちゃだね
ちがうのッ…言わないでぇ…
いつもどういうこと想像してオナニーしてるの？
クチュ
ちゃぴっ♡


ビクッ
あッ♡
あぁ…ッ♡
んんッ♡
んッ♡
私、ハルくんのあれを…いつも想像して…
私のオナニー見てあんなに大きく…
あれが私の中に入ったら…
クチュ♡
ちゃぷっ♡
あっ…俺そろそろイきそう…


あっ…ハルくん…私も、もう…
だめっ…私、見られてるのにぃ…
イっちゃう…我慢っ…できぃ、ないぃ…
イっちゃうよぉお…！
イって…！俺もっ…
あッ♡
あぁ…ッ♡
んんッ♡
んぅッ♡


ビクッ
ビクンッ
ビクッ
あぁぁぁぁぁ♡


ビク
ビクン
ハァ…♡
ハァハァ
ニチャ
ンッ
クパァ


…ごめん
うん…
もう我慢できないっ…
え？


ユキちゃん
挿れるよっ…
だ、だめ…！
それだけはっ…
あッ
ビクッ
恋人じゃないのに
こんなことしちゃ…
というか、ハルくんのが
ほんとに…!?
アレが挿入るの…!?
イったばっかり
なのに、いま
挿れられたら…っ
ぴとっ

ビク
ビク!
ぬるぬる
ビク
うぅっ…!


やだっ…ハルくん…
なんで？
こういうのは…好きな人とじゃないとぉ…
こんな状態でやめろって言われてもムリだ…
それにユキちゃんは俺のこと好きなはずなのに…


…お、俺
好きだよ
…ユキちゃん
のこと
……
だから…
いいでしょ？
……
ほんとなら
いいよ


ごめん…
ユキちゃんっ…
嘘ついて
ごめん…
でも…
あッ♡
こんなに
気持ちいいのに
やめられ
ないっ…！


すごいっ…
中ぎゅうぎゅうで
気持ちいい…！
チンコ吸われる
みたいだ…！
あッ♡
あッ♡
あッ♡
あッ♡
あッ…
そんな早く
うごいちゃっ…
もうちょっと
ゆっくりぃ…
してぇ…っ！


ああっ…♡
これ、くるぅ…♡
奥ガンガン
突かれてっ…♡
強引にされたのにっ…
ズンッ
ズンッ
ぐちゅぐちゅっ♡
あッ♡
いくぅ…!!♡
ビクッ
ビクッ
ビクビクビクッ♡


あぁあ…っ♡
ハルくっ…
もうイったからぁ…！♡
ずりっ
ずっ
ずりっ
ビクッ
あッ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ダメっ…
ハルくん夢中で…
全然聞いてないっ…
イったばっかりで
こんなにされたらぁ…
おかしくなっちゃ…


ユキちゃんっ…
も、出ちゃう…
っあ…
だめ、中はだめっ…
外に…
ずりっ
ずっ
ずりっ
あッ♡
ビクッ
ビクン
ビクン
うんっ、うんっ…
わかってる…
あぁっ…
出るっ…！


うぁっ…！
どぴゅっ
びゅるるっ
ズッ
んっ
ぁぁっ
ぴゅるるるっ


はぁ…
ごめん…
…うん
大丈夫…
ベトッ
ドクン
ドクン
はぁ♡
あ♡
はぁ♡
はぁッ♡
体に精液をかけられ
乱れた呼吸の
ユキちゃんを見て
今まで味わったことの
ない征服感にも似た
感情を覚えた


ユキちゃんに嘘をついてしたセックスが
俺は、癖になってしまった
ドクン
ドクン


あんなことがあっても
変わらずちゃんと俺の部屋で勉強を教えてくれる
けど正直、全然勉強する気になんてなれない
一応ちゃんとやろうとしてるんだけど…


あ、あの…
ん？
…今日もするの？
え…
それ
それ
ユキちゃんからこの話をするなんて意外だった…


したいの？
し、したいとかじゃ…
…わかんない
…俺はしてほしい
ことあるんだけど


私どうしちゃったんだろ…
私はハルくんのこと好きだけどハルくんは…
それなのに私、いま…


どっ
あっ…
口の中
あったかい…
んぐッ…
おごっ
なんか変な味…
それに口の中で
ドクドク脈打ってる
のがわかる…


舌動かすとビクビクしてる…
きもちいいのかな…
んッ
ぐぐっ
でも、口いっぱいでうまくできない…


もっと奥まで咥えてっ…
グイッ
んッ
しゃぶ
ぶっ
んんんッ
ビッ
くくるしいっ…
喉に先っぽがあたって…


あーきもちいっ…
セックスしてる
みたい…
ぐいッ
ぐッ
じゅぽッ
息がっ…
くるしい…
私のことなんて
全然気にしてない
みたいに
頭思いっきり
動かされて…
ぐッ
ぐラッ
ぢゅぷッ


性欲処理だけに使われてる感じがして…
私興奮してる…？
クイッ
ンッ♡
じゅぽっ♡
ヴッ♡
苦しいはずなのにっ…
喉の奥突かれるときもちいい…♡
頭クラクラして…何も考えられない…♡
ヴッ♡
ヴッ♡
ちゃぷっ


もうイきそ…
このまま出すねっ…
ンッ♡
じゅぽっ
ぢゅぷっ
ンンッ
また大きく…♡
フェラしてるだけなのに…興奮してとまらないっ…♡♡
もうぐるしいっ…くち、犯されて…♡♡
ンッ♡


でるぅ…！
どぴゅっ！！
どぴゅっ
ビクビク
ビク
ビク


口の中見せて
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン


ドクン
あ…私ってえっちなこと好きだったんだ…
ドクン
ハルくんとなら…
ドクン
ドクン


ドクン
ビクン♡
ドクン
もう…いっか…♡
ドクン


フェラだけで
ぐちょぐちょじゃん
ユキちゃんって
変態だったんだね
ちがうのぉ…
この前の…
思い出してっ…


ちゃんと自分で動いてよ
んっ♡
あ♡
うんっ…
うまく動けないけど…
この体勢で自分で動かすと…
ずぶっ
ずぶっ
ずぶっ
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡


きもちいとこ
自分で当てて…
ハルくん使って
オナニーしてる
みたいでっ…
もっと
激しくして
えっ…
ずぶっ
ずぶっ
ずぶっ


もうイきそうなのに…
これ以上激しくなんて…
あ♡
んっ♡
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ
でもきもちよくしてあげたい…
あっ♡
んっ♡
できないの？仕方ないなぁ…
ちゅぱっ♡
ちゅぱっ♡


おらっ！
ぬぉ
ぐぐぐ
あぎぃ♡
ぐりん
ズン
ドクッ
キュウ♡


イったのにぃ…
まってぇ…♡
そんなに
強くされたらっ…
ひと突きごとに
イかされ
ちゃうぅ…♡
ずぷっ
ずぷっ
ずぷっ
ずぷっ
じゅぶっ♡
じゅぶっ♡


あんなちっちゃかった"ハルくん"に
下からガンガン突かれてこんなによがってどんな気分？
ぐっ♡
あぁ♡
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ


これいい…♡
きもちいっ…♡
乱暴にピストンされて嬉しい？
うれしいのぉ…♡
もっとぉ…♡♡
ずぼっ
ずぼっ
ずぼっ
ずぼっ


俺もう動いてないよ
自分で動けるじゃん
だって…♡
こし、勝手にっ…
動いてぇ…♡
とまらないよぉ…♡♡
ずぽっ
ずぽっ
ずぽっ
ずぽっ


自分だけイきまくってずるいなぁ
ごめ、ん…ごめんねユキくんっ…
ユキくんも…イっ、て…♡
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ


ほら、まんこもっと締めて俺のちんこしごいて
きもちよくしてあげたいって思うと…♡
体がハルくんのを締め付けてっ…♡♡


うぁっ…！
あぁ
あぁ
ビク
ビク
ビク
どぴゅ！どぴゅ
ぱぁんっ


あぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
カク
カク
カク
カク
ぐちゅ…


はーぴ♡
はーぴ♡
あーぴ♡
はーぴ♡
カク
カク
カク

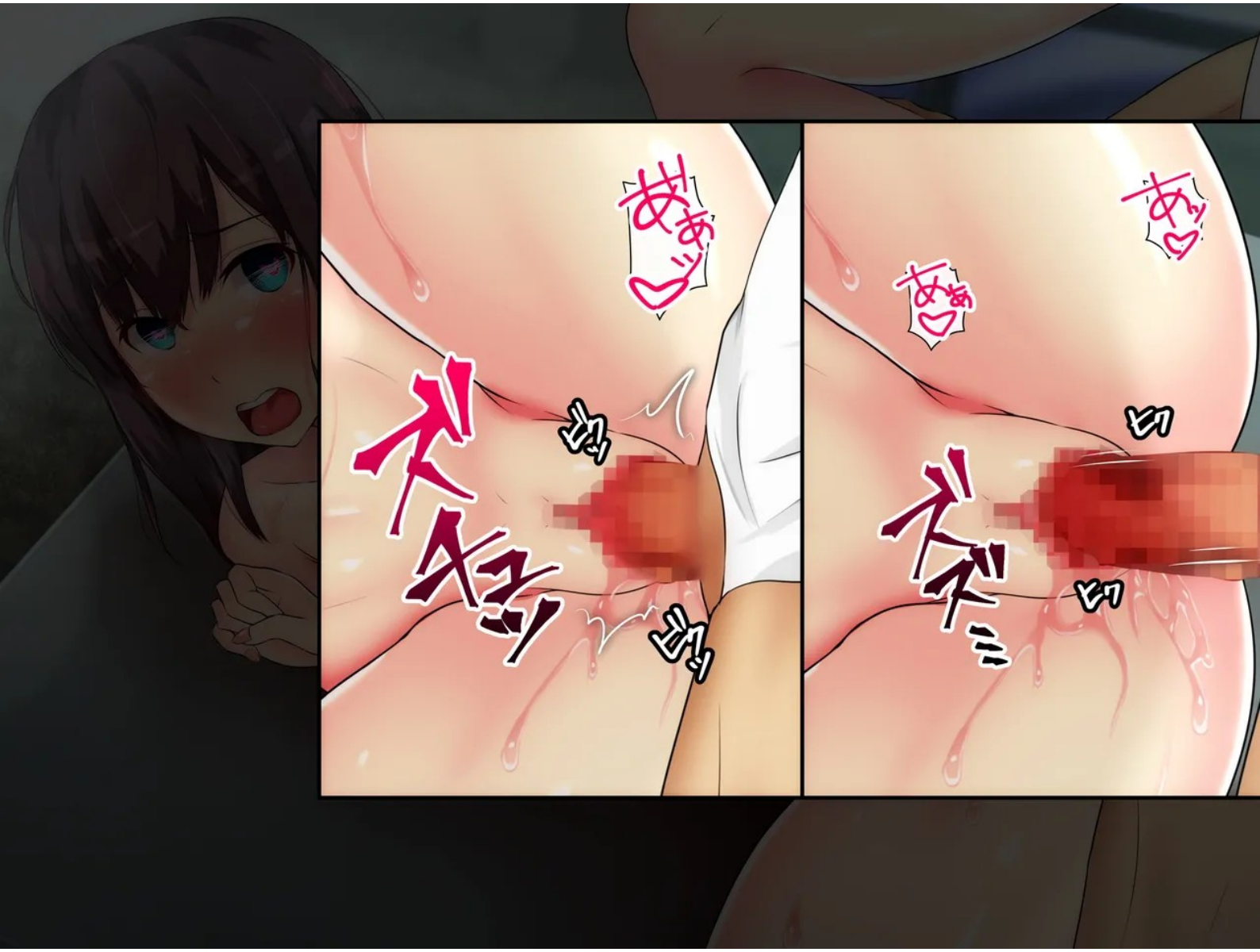

あれからは、ほとんど毎週末、ユキちゃんが
家庭教師としてうちに来るたびに
どちらからともなく
セックスをしてた。
ユキちゃんに「好きだ」と
嘘をついて始まったけど、
俺が嘘をついたことに
気づいてるのかな…
罪悪感を感じていたけど
それさえも始まってしまえば
興奮へと変わってしまった。


まんこぬるぬるで準備万端だね
あーこのままこするだけでイけそ…
やだぁ…ハルくん…
早くいれてっ…
ぬるぃっ
ぬるぃっ


あぁ～ん
ぬっ
ヒク
ヒク
ヒク
んっ♡
ぬぽっ
ほら挿れたよ


お、おく
入れないの…？
俺はこのまま
でもイけるけど
えっ…
なんで…
いつもならすぐ
思いっきりするのに…


お、おくぅ…
入り口だけ擦られて…
焦らされて物足りない…
奥入れてぇ…！
体が快感を求めてどんどん敏感になっていくかんじが…


あぁ♡
あぁ♡
ズズズ
ヒク
ヒク
あぁ♡
あぁ♡
ズズ
ヒク
ヒク


あぁ♡
ビクッ
おぁッ♡
ズンッ
ビクッ
あッ♡
ビクッ


これぇ…♡
きもちっ、いい…♡
満足した？
うんっ…
これ好きぃ…♡
こんなんで
足りるの？
あぁ♡
あ♡
あッ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ズッ
ズッ
ズッ


ハルくん…♡
イきたいっ…
まだダメだよ
我慢して
んっ…とま…
止まってっ…♡
やだ
あ♡
ビクッ
あ♡
ビクッ
ズン
ズン
ズン
ビクッ
あっ♡


イっちゃダメって言うのに…
奥ガンガンされたらっ…
ムリヤリ膣内に意識が集中しちゃうぅ…♡
あぁ♡
だめっ…我慢しなきゃ…♡
あ♡
ビクッ
ズン!
ズン!
ズン!
ビクッ
ビクッ
だめ、だめ…キちゃうぅ…!♡
あッ♡


あっ♡
ビクン
ビクビクビクビク
ズン
ヌプ
ヌプ
ヤバい


え、イったの？
ちがっ…イってな…♡
そうだよねじゃあ今イかせてあげるね
あっ♡
ビク
ビク
ビク
ビク
ぐちゅぐちゅ

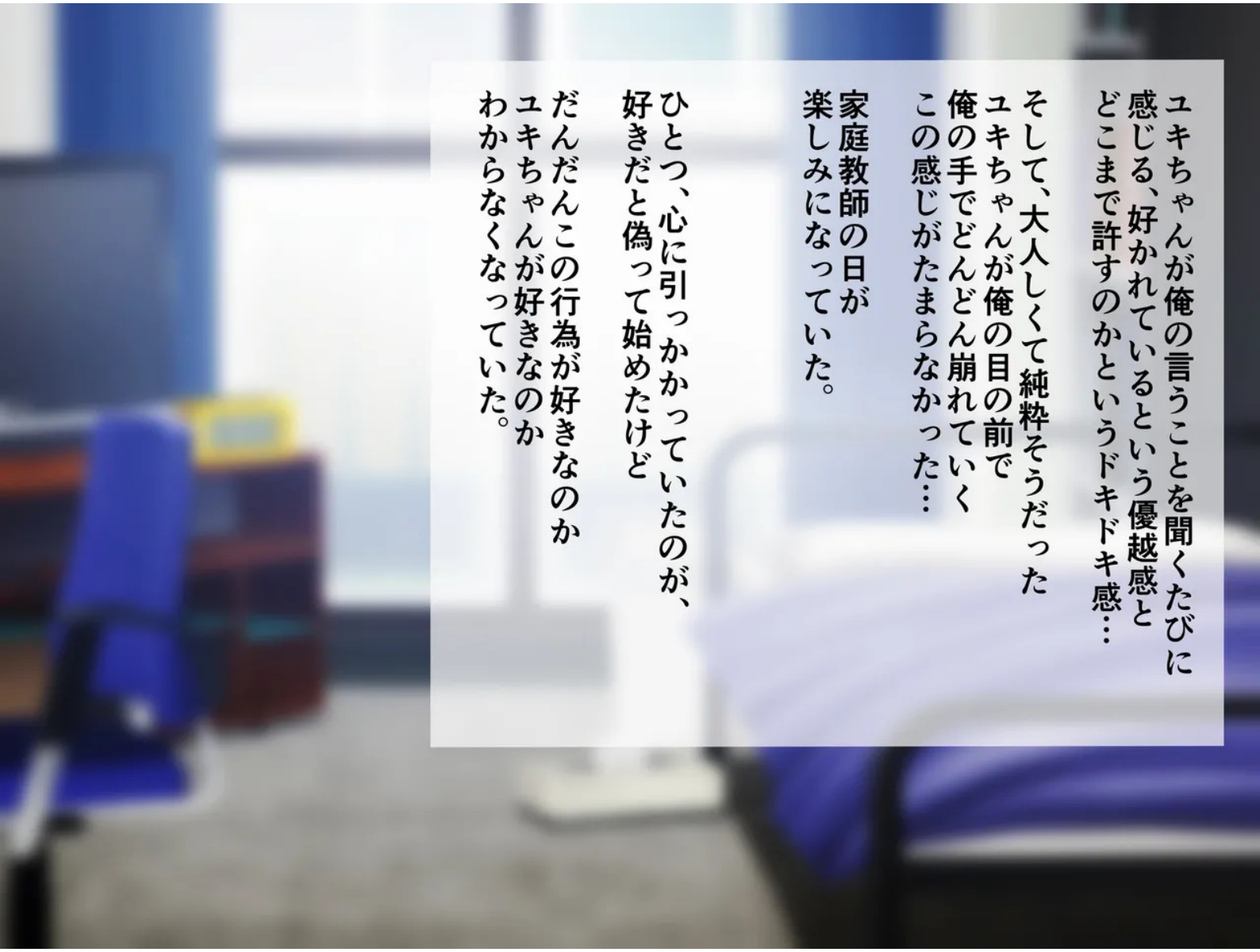
ズルッ
ズルズル
ズルッ
ズルッ
ズルッ


あぁっ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
あぁっ♡
あぁっ♡
あぁっ♡
あぁっ♡
あぁっ♡
ああっ…♡
ハルくっ…♡
うあっ…
さっきより
まんこ締まる…！
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ


弱いとこ押されて…♡
またイかされちゃうぅ…♡
あっ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ユキちゃんイくっ…！
パンッ
パンッ
パンッ
ヌチュッ


あぁ…っ！
どくんっ！
ビクッ
ビクッ
おっあぁっ
ビクッ
ビクッ


ぬ
ぱっ
ぱっ
ぱっ
ぱっ


ユキちゃんが俺の言うことを聞くたびに
感じる、好かれているという優越感と
どこまで許すのかというドキドキ感…
そして、大人しくて純粋そうだった
ユキちゃんが俺の目の前で
俺の手でどんどん崩れていく
この感じがたまらなかった…
家庭教師の日が
楽しみになっていた。
ひとつ、心に引っかかっていたのが、
好きだと偽って始めたけど
だんだんこの行為が好きなのか
ユキちゃんが好きなのか
わからなくなっていた。


まだー？
き、着れたんだけど…
モジ
おちんっ
モジ


ハルくんに渡されて
一応着てみたけど、これは…
チラ
ぷるっ
チラ


わあ…エロいね似合うよ
ん…
嫌なの？
いやというか…
モジモジ
モジ
モジ
この水着小さすぎて恥ずかしい…


足開いて見せて
うぅ…
パンツ細すぎて股間に食い込んでる…
このままでまんこ見えそう
ぱんぱん


あれ？
もう濡れて
きてるよ
言わなくて
いいからっ…
そうなの？
じゃあ…
じゅんっ
ぬりぬり


ビクッ
ビクッ
あっあぁ♡
いやぁん♡
ビクッ
な、なんで急に…っ
言わないでいいんでしょ？


そういうことじゃ…
あぁッ♡
ドンッ♡
ビクッ
ビクッ
あッ♡
下着の上から指入れられて…
よけいに食い込むっ…
ビクッ
ビクッ
あぁっ♡
ちゅくっ♡
ぐちゅ♡
クリトリスを下着が擦って…
同時にされてるみたい…


奥、きもちいいとこっ…♡
当たって…イっちゃうぅ…♡
ダメぇ…！


まだだよ
一旦おしまい
え…？
なんで…
あとちょっとで
イけたのに…


待って、こんなとこじゃ…
いいからいいからちゃんと手ついて立って
ゴソゴソ


や…外から見えちゃう…
せっかく可愛いの着てるんだから
みんなに見てもらった方がいいでしょ？
やだっ…誰かに見られたら…


オオオ
んあっ
ぬるっ


さっきイく直前で止められたからっ…
中が敏感になって…頭がフワフワするぅ…
それに、いつもと違うところに当たってっ…
あぁ♡
あッ♡
ンっ♡
ダメ
ダメ
オ〜ッ
オ〜ッ
オ〜ッ


あっ…私、いまこんなお昼から…
こんな変態みたいな恰好で外から見えるとこで
年下のハルくんに後ろから犯されてっ…
あぁ♡
あぁッ♡
んっ♡
外の話し声がうっすら聞こえてる…
私の声も外に漏れちゃう…


今日ユキちゃんの膣内キツキツだよ
知らない人に見られるかもしれなくて興奮してる？
ちがっ…
あっ♡
あぁッ♡
うっ♡
ズン
ズン
ズン
ズン
うあっ…また締まった…


やだぁ…♡
ハルくっ…
わたし、外から
見える
ところでっ…
イくっ…
キちゃうぅ…♡♡
イって…
俺も出るっ…
あっ♡
あぁッ♡
んっ♡
ズンッ
ズンッ
ズンッ
ズンッ


うぅっ…！
イグっうぅぅっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

はーっ♡
はぁっ♡
はーっ♡
ムラ
ムラ
ムラ


あー気持ちよかった…
…まだする
きもちいの足りなかった？
そうじゃないけどもっとしたいの…
ぎゅっ♡
ぎゅ♡
ドク
ドク
ドク


はぁ♡
んっ♡
あぁ♡


いっ
あ
あぁっ


あっ…先っぽだけでもきもちいい…
ハルくんっ…もう奥、入れていいよぉ…
入れていいよ…？
もっと…入れてぇ…
ちゃんとおねだりしないと


私のおまんこのなかっ…
ハルくんのおちんぽで…いっぱいにしてっ…
しょうがないなぁ


今日もう7回もしてるのに膣内キツキツできもちいっ…
わたしもっ…♡
もっとしてぇ…♡
だめユキちゃん…そんなギュウギュウ締められると…
ズッ
ズッ
ズッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
あぁ
あぁ
あぁ


うぅっ…！
ビクッ
ビュルルル
ビュッ
ビュッ
ビュッ
あぁん
あぁん
あぁん


やばっ…
どうしよ…
ドクッ
中出し
しちゃった…
何も言われない
けど気づいて
ないのかな…
このまま
もう一回
しちゃおっ…
あっ
あっ
あっ

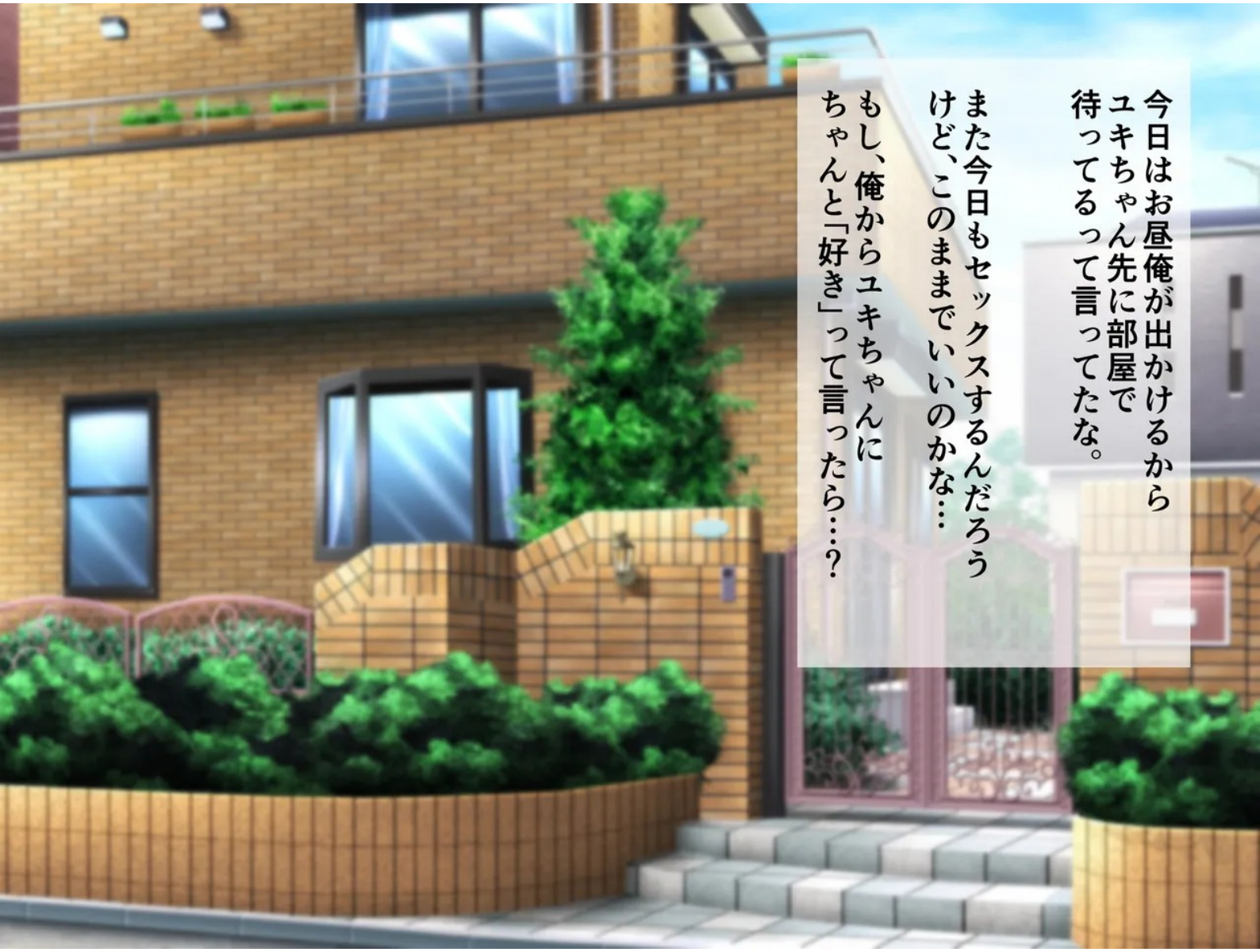

精子で膣内がヌルヌルになってきもちい…止まらないっ…！
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
えっ？あ…っ♡おなか、深いぃ…♡
はげしっ…♡ハルく、まって…♡
あぁん
あぁん
あぁん


ユキちゃん…中出したいっ
いいよね…ね？
パンッ
いいよ…おまんこの中で…♡
ハルくんの精子びゅくびゅくってしてっ…♡
パンッ
パンッ
パンッ
ビクッ
ビクッ
あぁん
あぁん
あぁん

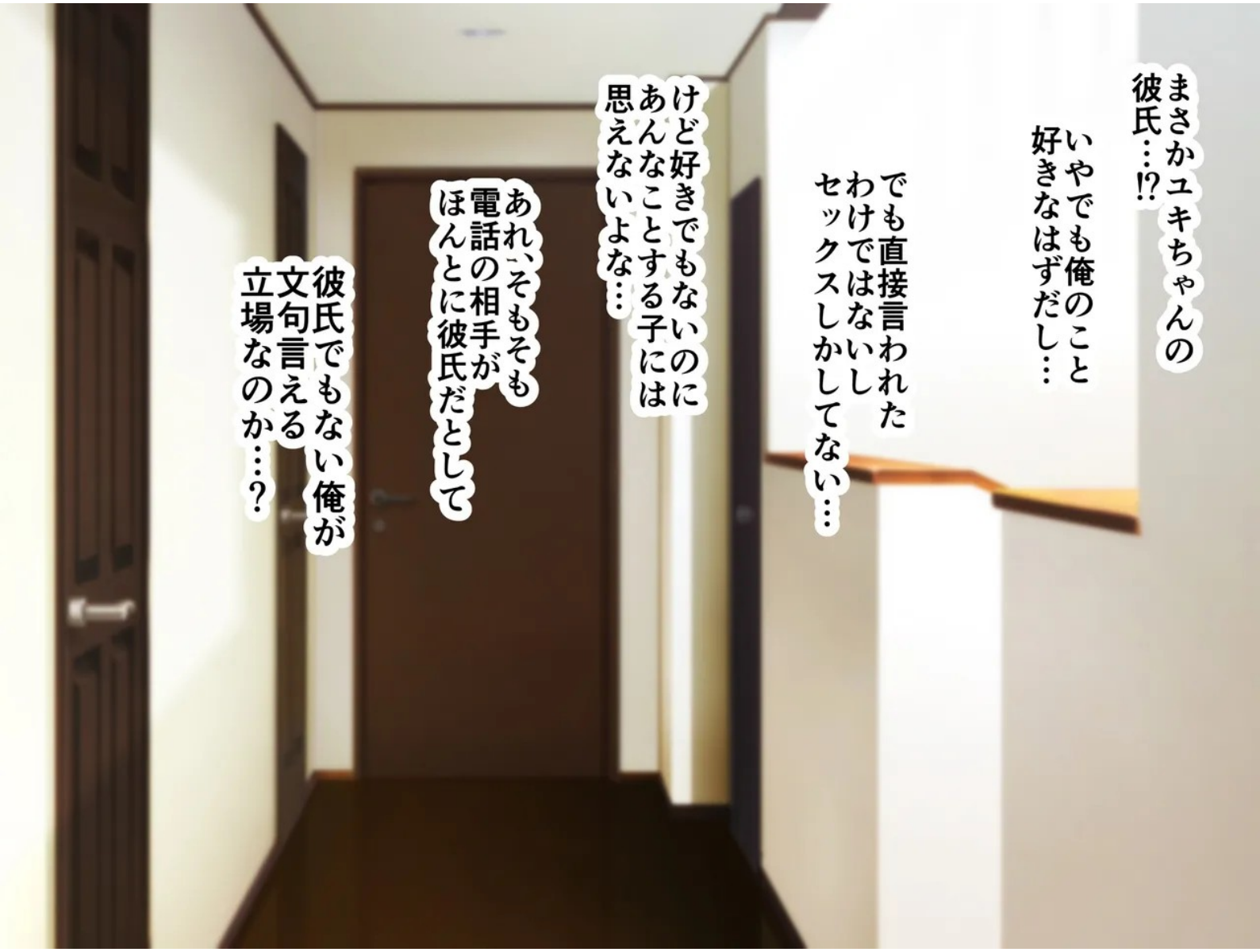
あっ…！
ビュルルッ
ああんっ
ビクッ


ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ヌルッ




今日はお昼俺が出かけるから
ユキちゃん先に部屋で
待ってるって言ってたな。
また今日もセックスするんだろう
けど、このままでいいのかな…
もし、俺からユキちゃんに
ちゃんと「好き」って言ったら…？


あれ、電話中かな…男の声？
うんそうだね
じゃあ明後日一緒に行こうよ
仲良さそうだな昔はあんまり男友達いなかったけど…


まさかユキちゃんの彼氏…!?
いやでも俺のこと好きなはずだし…
でも直接言われたわけではないしセックスしかしてない…
けど好きでもないのにあんなことする子には思えないよな…
あれ、そもそも電話の相手がほんとに彼氏だとして
彼氏でもない俺が文句言える立場なのか…?


静かになってる
終わったのかな
ユキちゃんに彼氏…
できてたらいやだな
…やっぱり今日
ちゃんと告白しよう


けど、いざ告白ってなると
好きなの意識しすぎて
緊張してきたな…
俺いつの間にかこんなに
ユキちゃんのこと
好きだったのか…
でも早く
言わなきゃ…

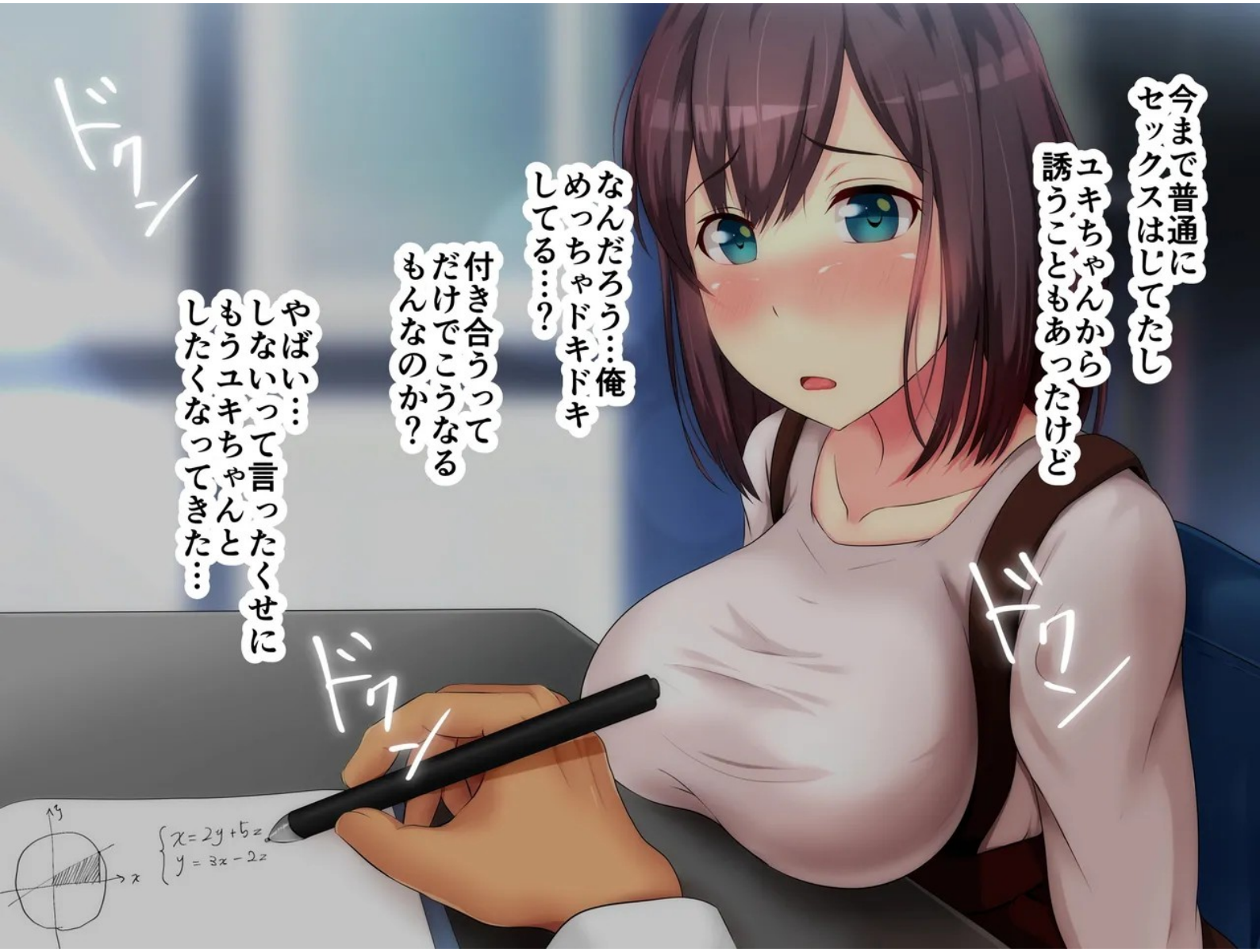

ね、聞いてほしい
ことがあるんだけど
えっ…うん
どうしたの？
ハルくんが前私に
好きって言ったの
覚えてる？


嘘つかせちゃってごめんね
もう終わりにしよ…？
え？まってまって俺今日は
ごめん…やっぱり良くないから…
なんで今日なんだ!?
まずい…止めないと…


俺今日、ユキちゃんに
告白しなおそうと
思ったんだけど…
えっ…
…でもあれは
ルくんが嘘を…
それは
ごめん！
ユキちゃんが
俺以外とするの
かもって思ったら
めちゃくちゃ嫌で
だから今更だけど
ちゃんと好きに
なったって
言いたくて…


っ……
カアアア…
今はほんとに好きだし付き合いたい！セックスなしでいいから！
ほ、ほんとに…？
本当に！おねがい！


…私も付き合いたい…
ほんとに!?いいの?
うん…でも、その…
ん?
え、えっちはしたい…です
えっ…


今まで普通にセックスはじめてたしユキちゃんから誘うこともあったけど
なんだろう…俺めっちゃドキドキしてる…？
付き合うってだけでこうなるもんなのか？
やばい…しないって言ったくせにもうユキちゃんとしたくなってきた…
ドクン
ドクン
ドクン


あ、でも今日親いるんだった…
くそ、今日に限ってなんで…
…じゃあ勉強したら私の部屋、くる？
え!?
今日は、私一人なんだ
行く！行きたい!!


じゃあ夕方まで勉強がんばろっか
夕方…ながいよ…
いま家庭教師しにきてるんだからね
うん…




ハルくんが私の恋人…
ずっとそれを
望んでいたからかな…


そのまま腰落として
んっ…うん…
数えきれないくらいしたのになぜか今日は緊張する…
でもそれより…
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ヌプッ


あッあぁ♡
今まで抑えてたハルくんへの好きが溢れて…
気持ちよさが止まらないぃ…
入れただけなのに体中に電撃が走るみたいっ…
メロプラ♡
ドクン
ビクッ
ビクン
ドクン
ビクン
ドクン
あッ♡
ぬぽっ♡

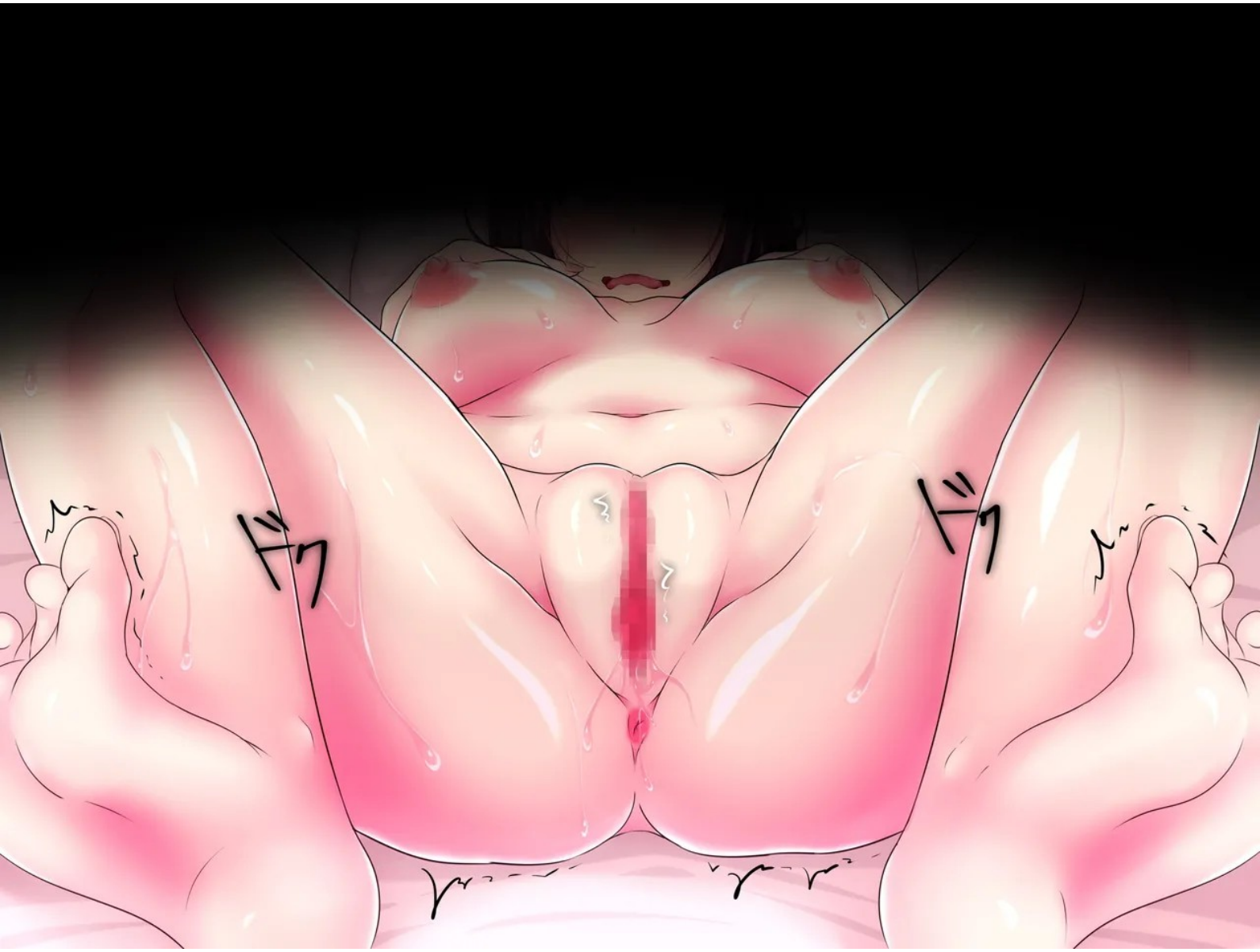

両想いってだけで…
こんなに興奮するの…♡
頭もおまんこもゾクゾクしてっ…♡
ユキちゃん…今日激しっ…
だって…ハルくんと付き合えたからぁ…
ずちっ
ずちっ
ぬっ
ぬっ
ぬっ
ぬっ


ハルくんっ…きもちい…♡
腰が止まんないっ…♡
俺すぐイくかも…
中出しもいいよっ…♡
あぁ♡
ずちっ
ずちっ
ぢゅぷっ
ぢゅぷっ

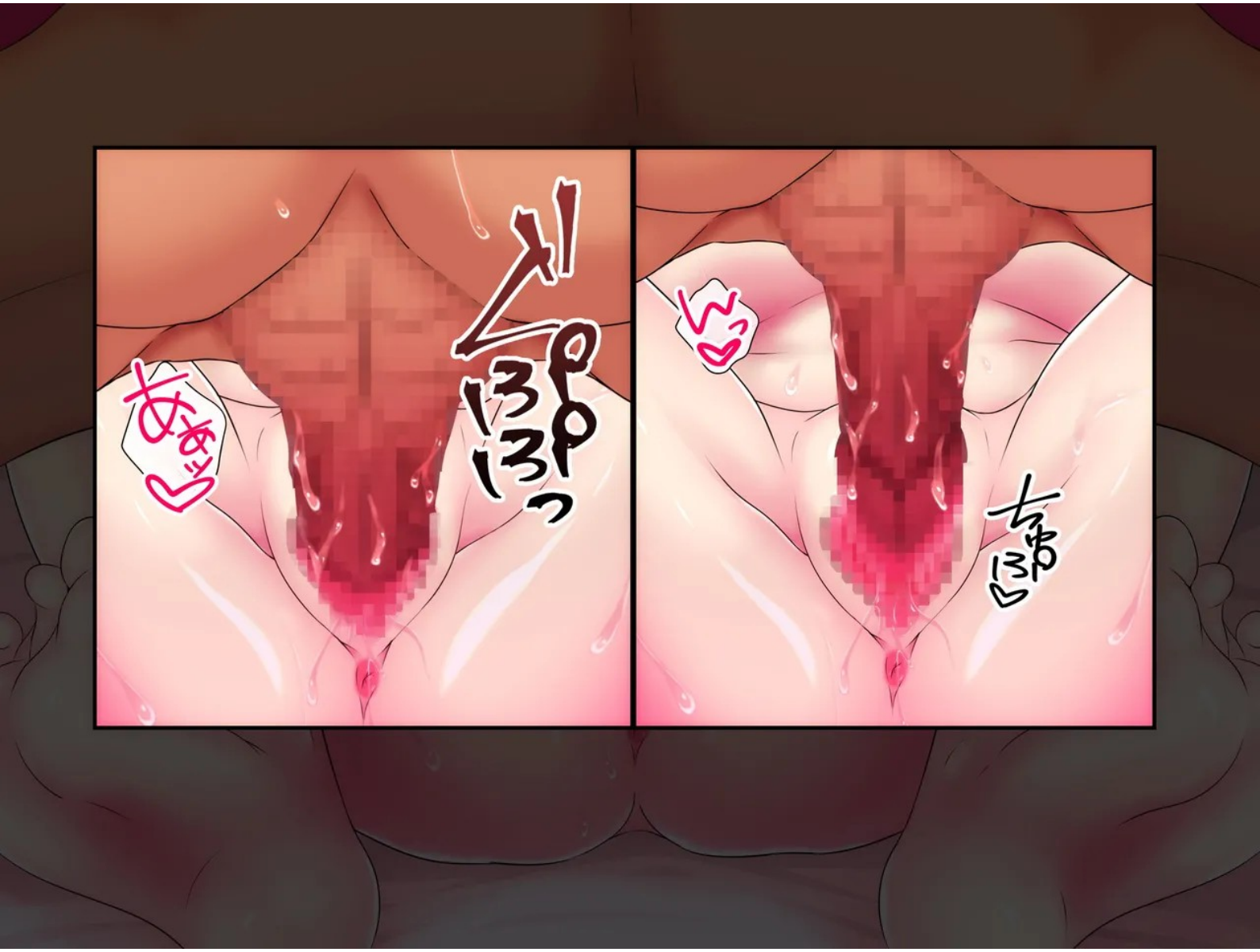

ムリぃ…♡
ぎもぢぃっ…！♡
ユキちゃん…！
膣内で出すよっ…
うんっ…♡
おまんこに
精子入れてぇっ♡
私も一緒に…
ハルくっ…♡♡
んっ♡
ずちっ
ずちっ
ずちっ
ぬっ
ぬっ
ぬ


ユキちゃん…うぁっ…！
とぷっ
びゅくるるる
おっおおおおっ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぷしゃっ♡
ぷしゃっ♡


足りない…
もっと…
もっと…♡
俺もまだ
ユキちゃんと
したい
うんっ…
でも私、いま
うごけない…
じゃあ俺の
番だね
ヤク
ヤク
ヤク
ヤク
すぅぅ…
ダラ…


ドク
ドク


俺が上になるね
ユキちゃんのベッドに押し倒してる光景…新鮮だな
まんこパクパクしてる…早くほしいの？
うんっ…ほしいぃ…♡
ドク
ドク
ドク


ぷちっ
ぷちっ
あぁっ♡
んっ♡
ちゅぷ♡


ハルくんのっ…
おなかまで
いっぱい…♡
しあわせぇ…♡
奥までしてっ…♡
あぁッ♡
ユキちゃんのまんこ
もうチュウチュウ
吸ってくるっ…

ずちゃっ
ずちゃっ
ずちゃっ
ずちゃっ
ぐぐぐ
ぐぐぐ
ぐぐぐ
ぐぐぐ
ぱぱっ
ぱぱっ
ぱぱっ
ぱぱっ


ユキちゃんがこんなに変態なんて知らなかったよ！
ハルくんだけぇ…♡
ハルくんの前だけ変態になっちゃうのっ…♡♡
あぁ
ぁぁっ
ぐちゃっ
ぐちゃっ
ずちゃっ
ずちゃっ
ずちゃっ


もっとぉ…♡♡
ハルくんの…いっぱいほしっ…しーしっ♡
あぁ♡
そんな締めたらまた中でちゃうっ…
ずちゃっ
ずちゃっ
ずちゃっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ

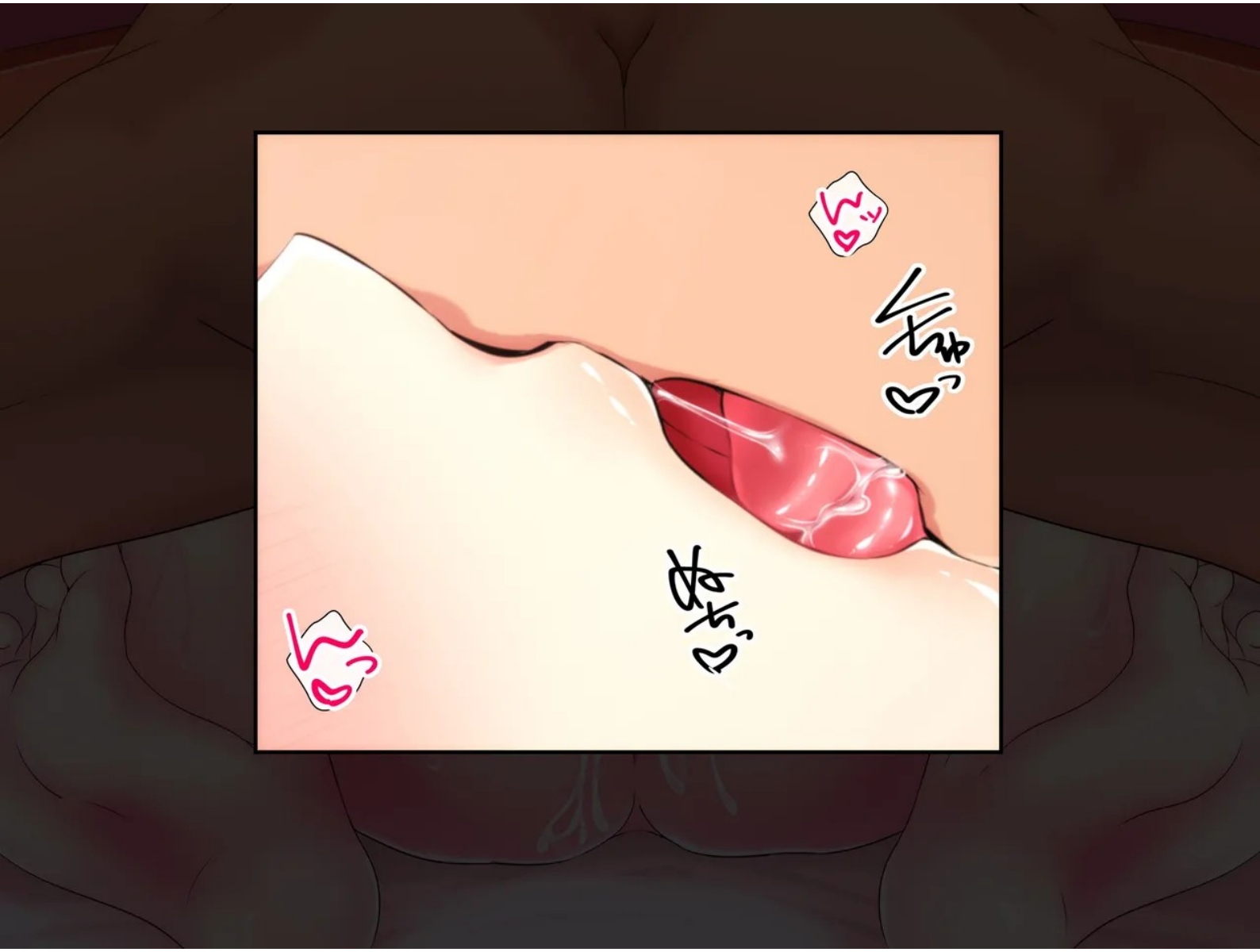

ダメっ…まだズポズポするのぉ…♡♡
今日はいっぱいしたいぃ…♡
うん…俺も！いっぱいしよっ…
あぁ♡
ずちゃっ
ずちゃっ
ずちゃっ
ずちゃっ


ハルくんっ…♡
好きぃ…♡♡
っ…俺も好き…！
ごめんっ出ちゃう…！
あぁ♡
ずちゃっ
ずちゃっ
ずちゃっ
ずちゃっ


ぐっ♡
ぐぁぁ♡
ぐぁ♡
ぴゅるるっ
ぴゅ

ヒク
ヒク
ヒク
ヒク
あっ
あっ
あっ
でるぉ


ハルくんっ…
ちゅーして…♡




好きぃ…♡
ハルくんっ…だいすき…♡♡
あぁ♡
うん、俺も好きっ…
ユキちゃんっ…
あぁっ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ぱちゅっ
ぱちゅっ


きもち…いぃっ
おまんこぉ…
きもちいよおっ…♡
パンッ
パンッ
パンッ
イっちゃうぅ…っ
イくっ…ああっ♡
おまんこぉっ…
イぐぅうう…！♡♡
あっ
ぬぷっ
ぬぷっ
ユキちゃんのまんこが
チンコに絡みついて…っ
パンッ
あぐ
亀頭から根元まで
吸い付かれる…っ
パンッ
パンッ


ダメぇえええっ…♡
イくの、止まらなっ…♡♡
子宮に出すから
全部受け止めて…っ
うんっうんっ…
精子全部出してぇえ…♡


ビクン
ううっ…！
ビュルルルル
ビュクッ
ビュクッ
ビクン

ヒク
ヒク
ヒク
ヒク
あっ
あっ
あっ
でるぉ


ぁぁ♡
ゾクゾク
ぁっ♡
ぁぁ♡
ビクン…
ヒクヒク
ゾクゾク


ぎゅ♡
ぎゅ♡
ぎゅ♡
ぎゅ♡
ビクン
ビュッ
ビュッ
コポポ
ビクッ
ビクン


あっ♡
あ♡
むぎゅ
むぎゅ




ユキちゃんと付き合ってからも
変わらず家庭教師として
俺の部屋にユキちゃんが来ている。
時には一緒に出かけたり
お互いに親がいない時を見計らって
前みたいにセックスしてたりも
するけど…


ねえ、一回休憩でも…
だーめまだ半分も進んでないよ
だって前より量増やしたじゃん…


あーあ
もうちょっと
頑張ったら
えっちして
あげようと
思ったのになぁ…
うっ…
…わかった
勉強続けよ


偉い偉い
付き合ってからのユキちゃんは俺の扱いがうまくなったというか
セックスの時以外こんな調子だけどユキちゃんとの距離が縮まったようで嬉しかった
きっと俺が大人になってもこのまま…


END...